



祝 創立25周年



岳人あびこ25周年祝賀会
我孫子市民プラザホールにて 2022.1.10

2月の定例集会は
2月1日(水) 19:00~
並木北近隣センター(並木本館)にて

岳人あびこ会員・会友の皆様

コロナ蔓延拡大時の会山行実施に関するお願い

令和4年1月20日

岳人あびこ会長 高橋芳恵

山行部長 北田仁則

おかげさまで1月10日の25周年記念イベントは盛況のうちに無事終了することができました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

ご承知の通り、急速にコロナ変異株による感染症が広がっています。本日の状況で1日に40,000人を超え、既に措置されている県を含め1都15県に蔓延防止等重点措置が適応されることになりました。今回のオミクロン株の感染者は軽症の方が多いものの、感染力が非常に強いとのこと。

1月18日の運営委員会・山行部会で今月予定されている定例・準定例山行は延期していただき、個人山行の場合も感染対策を十分にして実施していただくようお願いしました。今後については蔓延状況を見ながらの対応となるかと思いますが、できるだけ中止ではなく延期として計画された山行に無理なく取り組んでいただければ幸いです。

また状況により定例集会及び運営委員会の会場が変更となり、Zoom会議となる場合がありますのでやまたん、メール等で必ずご確認の上ご参加いただきますようお願いいたします。

3回目のワクチン接種券が発送され、接種できれば状況も変わってくると思いますが、再度手洗い、うがいの励行、三密を避けた生活行動を重視してこの状況を乗り切ることができ、早春からの山歩きが楽しめるようにいたしましょう。

準定例山行計画 どんぐり散歩 1		リーダー:小野 グレード:1A	
月 日	令和4年3月31日(木) 日帰り		
山 域	柏市手賀の丘周辺	地形図	1/25000 取手
目 的	身近な里山の自然観察をする。		
費 用	約0円	交通機関	車、自転車、徒歩
行 程	9:00 どんぐりの家前集合⇒里山歩き⇒昼食⇒里山歩き 解散予定 14:00		
個人装 備	登山靴は不要です。虫眼鏡、またはルーペがあれば尚良いです。		
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> *雨天中止。前日 10 時までにメールで連絡します。要返信です。 *今年 3 月～11 月までの最終木曜日に数回実施予定です。 同じルートを何回か回ることで経過観察ができます。 移り変わりの様を楽しめます。 *手賀の丘のキャンプ場が水、木はお休みです。 お休みの方が静かで観察向きです。 *昼食持参をお願いします。 *バス便もありますが集合時間と一致しません。 		

カレンダー作成担当からのお願い

2/1 の例会で岳人あびこのカレンダーをお渡しします。
カレンダーは 3 月始まりのため、表紙も合わせて見ていただきたく、早めにお届けしたいと思います。

そこで、例会に来られない方に次の点をお願いします。

- ① どなたかに代わりに受け取ってもらうようにしてください。
- ② 手配のつかない方には郵送します。

以上、よろしくをお願いします。

運営委員会・山行部会議議事録

令和3年度 運営委員会(第11回) 記事録

令和4年1月18日(火)

**1. 行事予定 (令和4年2月～令和4年4月)
(最終ページに記載)**

2. 各部より

- 《**会長**》 *25周年記念イベントのご協力ありがとうございました。出し物、講演、秋からの山行、Tシャツ、写真、全てとても良かったです。25周年を終えて、これからは副会長と共に、違った形の運営をしていきたいと思えます。オミクロン株の感染が急拡大しているので1～2月の山行は控えた方が良いでしょう。
 - 《**副会長**》 *寅年は降雪量が多いそうです。山行に行くときは天気図をよく見ましょう。トンガの火山噴火で気候が寒冷化する可能性があります。気候の変化に気をつけて下さい。
 - 《**総務部**》 *総会資料作成の為、各部活動報告などを次回拡大委員会までに出して下さい。次回定例会はコロナ感染拡大により Zoom での開催又は時間短縮で実施の可能性大。当面は流動的なので変更通知メールをチェックの上、参加お願いします。
 - 《**会計部**》 *26期の会計報告及び27期予算案について。今年度はコロナの影響で行事が少なくなり、支出が減ったが、その剰余金は来年度の総会と行事山行の費用に回すことに決定。
 - 《**装備部**》 *総会報告には装備品リストを報告する。(テントの部分を変更する)
 - 《**会報部**》 *会員の氏名の漢字は正しく記載するように、退会者の氏名はメールの宛先から削除するよう注意して下さい。
 - 《**県連**》 *ロングハイクの催行は1月の理事会(20日)に決定する。県連及び全国連の総会の日程などについての説明。
- 3. その他** * 労山山岳事故対策基金募集(継続)。2月の定例集会時に集金出来ない場合、3月の集金でも問題ないか確認する。
* 武内さんより、山行計画書に受理日の欄を設けるよう依頼があった。山行計画書のフォームが記載者により様々なので山行部より正規のフォーマットを再整備し、ホームページ会員専用ページに再UPしたものを統一して使用することを確認した。

2月定例集会所	田嶋さん	やまたん原稿 締切り	2月号	1月25日(火) 中村育子さん
			3月号	2月25日(金) 中村育子さん

外崎、高橋芳、中村(八)、武内、大島、千葉、桐生、矢野貞、中村育、齊田、郷田、本田、村越、大山、新谷、室崎、大平、北田、藤家、小林隆、深草、小林安、佐藤、森岡、白崎、田嶋、土田、松下 (運営委員28名)

1. 山行部より

新型コロナウイルスの感染急拡大をうけて、首都圏他に蔓延防止等重点措置が適用されることになりました。この事態を踏まえて、当会としては当面の間、会山行は見合わせることにしたいと思います。度重なる会山行中止は誠に心苦しいところですが、事態の収束が見通せれば、速やかに再開したいと思います。

なお、個人山行については少人数で密にならないなどの感染対策に十分注意して実施願います。また、自粛期間中にあってもコロナへの免疫力をつける意味から、トレーニングに心がけて来るべき登山シーズンに備えてください。

北田（山行部長）

2. 山行計画（2月～3月）

（最終ページに掲載）

3. 教育研修

【机上研修】

日程	対象者	研修場所	研修内容	担当講師	資料等
2/1 (火)	会員	定例集会	一年を振り返って(グループ討議)【中止】	総務部	

【実技研修】

日程	山名	対象者	研修内容	担当講師
2/12 (土)	仏果山	参加者	スマホ地図アプリの活用【蔓防期間に入るため、当該山行は延期とする。しかし、実技研修は個人山行として別の山で実施／希望者は担当講師に連絡のこと】	矢野貞
2/16 (水)	高麗山	新人	卒業山行【蔓防が延長されなければ実施】	大平・外崎

4. 山行報告

山名	参加者数		山行NO	やまなみ	カメラ	ヒヤリハット	特記事項
	会員	一般					
岩茸石山～棒ノ折山	9	0	1197	細谷	布能・吉川・小山	なし	コース変更(名坂 峠から岩茸石山を往復して棒ノ折山へ縦走する山行に変更)
鎌倉アルプス	4	0	1198	飯塚	高橋芳	なし	なし

5. 来期の希望山行について

リーダー未定の山行について立候補を募り、日程等の調整を行った。

6. 新リーダーについて

リーダー候補 6 名に対し、北田山行部長が打診し、3 名が受諾した旨報告された。

7. その他

- ・ 2021 年事故、ヒヤリハット報告一覧に関して、スズメバチの被害を追加することになった。
- ・ 冬用フライの購入に関しての継続審議したが、時間切れ次回持ち越しとなった。
- ・ 教育研修アンケートについて

(参加者)

外崎 高橋芳 北川 大島 武内 箕輪 田村 桐生 矢野貞 本田 矢野裕 中村育 新谷 村越 郷田
石塚 大平 北田 藤家 小島洋 小林隆 深草 小林安 蟹江 田嶋 佐藤 森岡 白崎 小島徹 秋山
(欠席) 齊田 室崎

労山山岳事故対策基金 継続申し込みの案内

「労山山岳事故対策基金」は会員の寄付による登山中の事故を救済するための互助制度です。

寄付金登録申込金 1口 1,000円（岳人あびこ会員 **2口以上**）
登録期間 1年間（令和4年3月～令和5年2月）
（保障等詳細については日本勤労者山岳連盟ホームページをご参照ください）

- ★登録口数、金額を**2月15日**までに（一氏・齊田）までメールでご連絡下さい
- ★申込金は令和4年度の総会時に集金いたします

25周年記念事業

岳人あびこ 25周年記念事業を終えて

実行委員長 室崎 宏治

「岳人あびこ 25周年を祝う会」イベント事業も成功裡に終わった。総会后、どこに行くか、どんなイベントを行うか、またどんな記念品を作るか等のアンケートを取ることから始まった。第一回は実行員委員会のキックオフから始まった。まずは、面白くやろうと思った次第です。全体として、おもしろくうまくいったというのが、実感でした。ここで細かく書くことはやめて、covid-19の影響下ほとんど zoom 会議で行なった。参加者全員の姿が見えない中で可能な限りの方法であった。三回の会議後 6 月 1 日以降の全体会議では実行委員から会員全員参加で行うようになった。まずは、参加したい部会へのアンケートをとることから始まった。

各部会ごとの報告はイベント用パンフ等にまとめられているので、ここでは繰り返しません。

25周年記念事業の特徴は、みんなに分かるように、しかも、『おもしろい』と思わせるようにした、ということです。それは相手に『おもしろい』と思わせることでもあるわけです。

『おもしろい』と思わせるには、言葉以外のあの手この手も必要です。あるいは、「この人、素敵だな」と思わせた者勝ち。もっと話したい、これからも付き合っていきたいと思わせる力。翻って、それが自分の身を守ることに繋がついていくのです。

つまり、こいつは噛めば噛むほど味が出て面白そうやで、と思わせることです。

イベントの横文字、会次第、パンフなどほとんど手づくりでした。各人が普段知らない能力を発揮された。また、それに気づくことができた。岳人あびこ会員の層の厚さを感じた次第です。苦境の中でも色々なことが出来ます。

このことは、まるで、日本刀を鍛造する時のように、叩いて加熱して叩いてスラッグを出し、鍛錬し綺麗な結晶結合を持つマルテンサイトのようになる。この活動を通じて感じたことです。

『おもしろい』という発想は、簡単に言ってしまうと、自分だけが面白がるのではなく、創造的な発想を練って相手に『それ、おもしろいな』と興味を持たせるように伝える、言ってみれば、『対人力』みたいなものです。

もし私が実行委員長をしてなければ、これらの進化の過程における数々の萌芽の発見を、ただただ曙光の光芒の一條一條を見るような脅威と感嘆をもって眺めたにちがいない。

今一度、『で、おもしろいことはなんだったの?』と聞く方が本質をついていると思いませんか? 今一度、聞いてみましょう。

「岳人あびこ 25 周年を祝う会」を終えて

記念イベント委員長：外崎 蓮

コロナの感染拡大が危ぶまれる中、皆さまのご協力をもちまして 25 周年記念イベントを無事に終えることができました。イベント委員一同を代表して会員の皆さまにお礼を申し上げます。早いもので 5 年毎に開催されてきた記念祭も今回で 5 回目となりました。コロナの終息の見通しが見えないまま、4 月、会では思い切って記念事業実行委員会を立ち上げました。それに伴ってイベント委員会も活動の開始です。

手始めに、14 名のイベント委員の皆さんにアンケートを実施しました。一人一人の意見を知る最短の方法だからです。これをもとに 6 月の第 1 回目のズーム会議で各自の意見を発表して頂きました。創立者の苦労話を聞きたいという人もいましたが、外部から講師を招いて講演会をやりたいという意見が多数でした。通常、講演会の前には前座と称してちょっとした出し物を行うことが一般的のようです。この二つでは何か物足りません。そこでアンケートの中にあつた写真展も取り入れてみました。登山と写真は、登山者の間では切っても切れないものだからです。その結果、出し物・講演会・写真展の三本柱でスタートすることにしました。

早速、お正月らしい縁起のいい出しものを委員の方が積極的に提案してくれました。ここ 1~2 年、新人歓迎山行を中止していることから、せめてものお詫びにと、また楽しい遊びとして新人の方々にお祓いを受けて頂くことにしました。メインとなる講演会に関しては、委員の K さんに全面的にお任せです。写真展を行うには会員からの応募が必須のため、やまたんで何回かに渡って呼びかけました。

心配なのが日程と会場の問題でした。山行部の山がすべて終了するのを待って、なるべく日数を空けずにイベントを開催したいと思ったからです。幸いにも両方ともこちらの思い通りに決まり、皆で一安心しました。

写真展は、応募してきたすべての写真を会場内でパソコンを通して見られるようにしました。写真展の最終目的はカレンダーを作ることです。夜、カレンダー委員が集まり、文字やレイアウトを相談しました。尚、3 月始まりにしたのは、委員のアイディアによるものです。写真の応募者数は、35 名の会員から何と 127 点。この中から、写真選考委員 5 名によって 13 枚の優秀作品が選び出されました。その後、イベントの時間配分や役割等を決め、5 回のズーム会議を経て 12 月、会場となる市民プラザホールにてシミュレーションを行いました。総仕上げです。

安心して年を越し、いよいよ 1/10 です。機材の点検と会場作りが早めに済んだのもシミュレーションのお陰です。記念祭は会長の挨拶と県連の来賓のご挨拶で始まり、出し物も会場内から笑いが起こるほどでした。2 時からの講演は、国立極地研究所にお勤めの樋口和生氏による「日本の山から南極へ」と題するものでした。遙かに遠い南極がより身近に感じられ、樋口氏の温かいお人柄と、南極への思いが伝わってくるものでした。本当にありがとうございました。

時間はあっという間に過ぎ、最後は 13 枚の写真発表です。正面のスクリーンに入選写真が映し出され、選考委員の一人、大山さんによって次々と発表されていきます。大山さんの紹介する間のとり方が実に見事で、次は自分ではないかと心当たりの方は、さぞやドキドキしたのではないのでしょうか。

こうして会場を明け渡す時間に間に合い、全員、集合写真におさまって 5 回目の記念祭を無事に終えることができました。

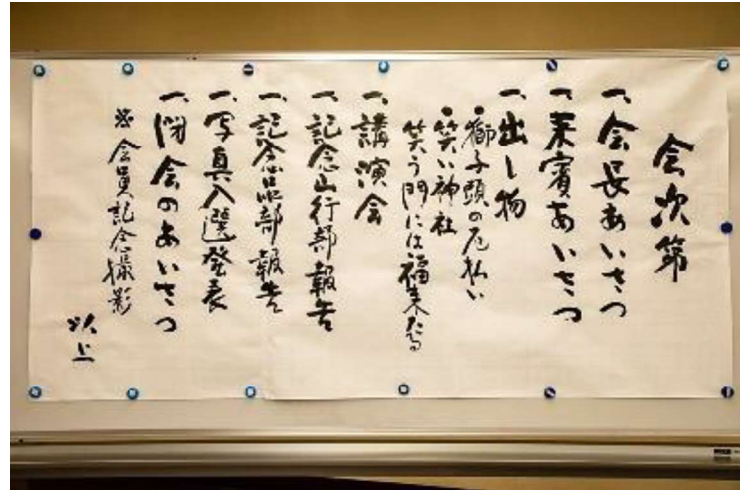
尚、写真は素晴らしいカレンダーに生まれ変わって、2 月頃に皆さまのお手元に届く予定です。

25周年祝賀会

(写真撮影:白崎哲史さん)

I 部

会長挨拶
来賓挨拶
祝辞披露



高橋芳恵 岳人あびこ会長



千葉県勤労者山岳連盟会長
広木国昭様



千葉県勤労者山岳連盟理事長
野田久生様



挨拶する高橋会長

出し物 「笑い神社『笑う門には福来る』」
「獅子頭の厄払い」



「笑い神社」の巫女さんから山行の無事を占い、
寿いでもらう新入会員の佐藤健一さん
(佐藤さんの右、同じく新人の吉川みよ子さん
と細谷秀次さん

獅子舞を終えて



新人の皆さん
を歓迎して



↑ 今年の安全と幸福を祈願して邪気を払ってもらう

←大賀晶子さん

大角順子さん(中) ↓

千葉有子さん ↓



Ⅱ部 講演会



演題「日本の山から南極へ」

講師: 樋口和生様

- ・北海道山岳ガイド協会顧問
- ・雪崩事故防止研究会副代表
- ・北海道山岳レスキュー研究会代表
- ・2008年から南極観測に携わる。
- ・2012年から国立極地研究所南極観測センター勤務
- ・2015年～第57次南極地域観測隊越冬隊長
- ・2022年第64次南極地域観測隊越冬隊長に決定

もの静かに、時にはユーモアを交えながら語られたお話は、非常に興味深いものでした。南極では全て自分たちの力で行わなければならない。発電機が止まると水が出来なくなる。発電機の担当者は「年中無定年」とか、夏（白夜）の6月末から7月までの約2ヶ月弱、隊員はとにかく忙しい。「日が暮れるまで帰ってくるな」と口の悪い人はいうが、そもそも、日が暮れない、等のエピソードには吹き出してしまいました。観測で忙しい短い夏が終わり、夏隊が去ると、150人いた隊員が30名になり、「とり残され感満載」になるといわれた時、樋口氏の巧みな話術に笑いましたが、実は深刻だったのだと後で知りました。極夜は気が沈む。観測がうまくいかない。太陽の周期とバイオリズムは関係しているかもしれないといいます。（冬の）海上は「とにかくだっ広い」。万が一事故が起こった時、他の隊員にどうフォローしてもらおうか。クレバスやクラックを想定しての海上安全講習では、野外で隊員を仕込んでゆく。樋口氏が南極に行く前、まだ山岳ガイドをしていたころのある日、偶然飲み屋で再会した山岳部の先輩から、「プロの力が必要だ！」とここんと南極行きを説得されたことが、翌日二日酔いの頭で考えて参加を決意するきっかけになったとのこと。樋口氏の任務の重要性が次第にわかってきました。隊長としての最大のミッションは「全員をちゃんと家族のもとに返す」こと。強い決意が感じられた言葉でした。

山の始まりは大学入学後の山岳部の5日間のキャンプ。十勝の原生林は初めての山で、大変だったが楽しかったといいます。北海道のNPO法人エネスは、600人の会員を抱える組織。そこで行われる小中学生を対象とした1週間の冒険キャンプでは、スタッフが鍋窯を背負って行きます。「知床の原生林を自分の中に落とし込んで、大きくなって壁にぶつかった時、この原風景を思い出してなごんでもらえれば十分」という言葉はとても印象に残りました。歳月を経ても、思い出の中で自然は私たちを支えてくれる。自然が私たちに与える潜在的な力の大きさを教えていただいたような気がします。（感想記 中村育）



スライドの説明をする樋口氏

Ⅲ部 「山行部報告」「記念品部報告」「カレンダー入選写真発表」



カレンダー写真発表（講評は大山さん）



休憩・休憩



奥にあるのは
テント↓



音響室にて↓

2. 行事予定 (令和4年2月～令和4年4月)

	月	日	行 事	場 所	備 考
当会	2月	1 (火)	定例集会	我孫子北近隣センター並木本館	19:00～20:00
		19 (土)	入会説明会	我孫子南近隣センター第二会	10:00～12:00
		20 (日)	拡大運営委員会・山行部会	アビスタ	13:00～15:00(和室) 15:00～18:00(第二)
	3月	6 (日)	総会	湖北台近隣センター	13:30～17:00
		15 (火)	運営委員会	市民プラザ	19:00～20:50
	4月	5 (火)	定例会	湖北台近隣センター	19:00～20:50
		19(火)	運営委員会	市民プラザ	18:00～20:50
県連	2月	17(木)	理事会	船橋西部公民館	
	3月	5(土)	県連総会	Zoom	

※我孫子北近隣センター並木本館での集会には「スリッパ」を持参して下さい。

2. 山行計画 (2月～3月)

日 程	分	山 名	山 域	L(企画者)	G	備考(目的)
2/6 (日)～ 7 (月)	定	北八ヶ岳	八ヶ岳	村越	2C	雪の北八ヶ岳を歩く【延期】
2/12 (土)	準定	仏果山	丹沢	矢野貞(飯塚)	1A	陽だまり山行(縦走気分を味わう低山) 【延期】
2/16 (水)	定	高麗山	湘南	大賀	1A	卒業山行【蔓防明け待ち】
2	定	三浦アルプス	三浦半島	室崎	1A	伊豆半島を歩くシリーズ【中止】
3/31 (木)	準定	どんぐり散歩	柏市手賀の丘周辺	小野	1A	身近な里山の自然観察をする